

第 13 回世界健康安全保障イニシアティブ（GHSI）閣僚級会合概要

平成 24 年 12 月 6 日-7 日 於 ドイツ（ベルリン）

2012 年 12 月 6、7 日にベルリン（ドイツ）にて開催された世界健康安全保障イニシアティブ（Global Health Security Initiative, GHSI）閣僚級会合の概要は次のとおり。参加国は、日本、カナダ、米国、英国、フランス、ドイツ、メキシコ、イタリア、E C（欧州委員会）、オブザーバーとしてWHO（世界保健機関）。日本からは麦谷審議官（三井大臣代理）、大臣官房厚生科学課健康危機管理対策室齋藤国際健康危機管理調整官が出席。

【会議概要】

今回の GHSI 閣僚級会合は、GHSI の発足時の 2001 年から数え第 13 回目を迎える会合である。議長国ドイツの主導により、各専門分野の活動報告後、健康危機管理分野の諸問題を討議した。エニス・バリス世界銀行中東北アフリカ地域事務局保健栄養人口部門長を初めて迎え、世界銀行の保健分野及びヘルスセキュリティ分野の取り組みを聞き、意見交換を実施。ほか、国際的な医薬品の共有問題、デュアル・ユース性の懸念される研究に対して GHSI 間の協調的な取り組みの必要性を確認し、共同声明の採択等が行われた。

【各国代表】

ドイツ：ダニエル・バール保健大臣

カナダ：レオナ・アグルカク保健大臣

米国：キャサリン・シベリウス保健福祉長官

英国：アール・ハウ保健担当政務次官

EC：マーチン・セイシェル消費者・保健担当副局長（トニオ・ボーグ欧州委員会保健・消費者政策担当委員代理として）

フランス：ジャン・イヴェ・グラール保健局長（マリソール・トゥーレーン フランス労働・雇用・保健大臣代理として）

イタリア：ファブリシオ・オレアリ予防・イノベーション課長（レナト・バルデウッチ保健大臣代理として）

日本：麦谷眞里審議官（がん対策、国際保健担当）（三井 辨雄厚生労働大臣代理として）

メキシコ：イエズス・フェリッポ・ゴンザレス-ロダン疫学局長（メレセデス・ホアン-ロペス保健長官代理として）

（オブザーバーとして WHO：ケイジ・フクダ事務局長補が参加）

世界健康安全保障イニシアティブ（GHSI）関連会合出張報告
平成 25 年 12 月 12 日-13 日 於 イタリア（ローマ）

【世界健康安全保障行動グループ（GHSAG）局長級会合】

日時：平成 25 年 12 月 12 日

参加国：カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、メキシコ、英国、米国、欧州委員会、WHO（WHO はオブザーバー参加）

参加者：牛尾審議官、山口健康危機管理・災害対策室長、関谷国際健康危機管理調整官

【第 14 回 GHSI 閣僚級会合】

日時：平成 25 年 12 月 13 日

参加者：イタリア（ロレンツィン保健大臣）、カナダ（アンブローズ保健大臣）、ドイツ（バール保健大臣）、メキシコ（フアン厚生大臣）、米国（コア保健福祉省副長官 セベリウス保健福祉省長官代理として）、英国（ハウ保健省政務次官）、フランス（バレ社会問題・保健省保健総局長 トゥレーヌ社会問題・労働・保健大臣代理として）、欧州委員会（ライアン保健・消費者総局公衆衛生担当局長代理 ボルジ保健・消費者総局政策担当委員代理として）、日本（牛尾審議官 田村厚生労働大臣代理として）、WHO（フクダ事務局長補）

閣僚級会合の概要

○2013 年の年次成果の報告が行われた後に各国が挨拶。

○WHO のケイジ・フクダ事務局長補による鳥インフルエンザ A（H7N9）と MERS コロナウイルス感染症の最新の状況が報告された後、検体共有をテーマに取り上げ、具体事例の想定のもとに意見を交換。

○英国主席医務官のサリー・デイビス教授による薬剤耐性菌に係る問題の講演の後、各国で意見を交換。

○共同声明を採択。

今後の予定

来年の閣僚級会合は日本で開催する（2014 年 12 月 11 日の予定）。